

# 第1回「デジタル人材育成・確保ワーキンググループ」

～地域デジタル人材育成・確保推進事業について～

2022年7月21日

- (1) 地域経済産業グループ 地域企業高度化推進課
- (2) 地域経済産業グループ 地域企業高度化推進課  
地域産業基盤整備課  
地域経済活性化戦略室
- (3) 商務情報政策局 情報技術利用促進課  
中小企業庁 経営支援課

# 地域未来DX投資促進事業

## 令和4年度予算案額 15.9億円 (11.7億円)

### 事業の内容

#### 事業目的・概要

- 新型コロナウイルス感染症の影響により、各国では非接触・リモート社会の構築に向けて、デジタル投資が加速しています。
- 地域企業が、今後も地域経済を支える主体であり続けるためには、こうした動きに取り残されることなく、デジタル技術を活用した業務・ビジネスモデルの変革（デジタルトランスフォーメーション（DX））を実行していくことが必要不可欠です。
- このため、以下の事業により、地域未来牽引企業等のDXを支援します。
  - ① 地域企業のDX実現に向けて地域全体で取り組む支援活動の促進
  - ② 地域の特性や強みとデジタル技術をかけあわせた新たなビジネスモデルの構築に取り組む先進事例の創出・普及
  - ③ デジタル人材を育成・確保するためのプラットフォームの構築等

#### 成果目標

- ① 事業年度から事業年度の3年後までの間において、支援コミュニティの活動地域における「地域未来牽引企業と地域未来投資促進法に基づく承認地域経済牽引事業者」からなる企業群の労働生産性の伸び率が6%以上増加することとします。
- ② 事業終了後3年を経過した日までに売上計上が予定される実証企業群の新製品・サービス、新収益モデル件数割合を50%以上とします。
- ③ 事業終了年度の令和8年度までに、地域企業のDXを進められる人材を1,300人育成することを目指すこととします。

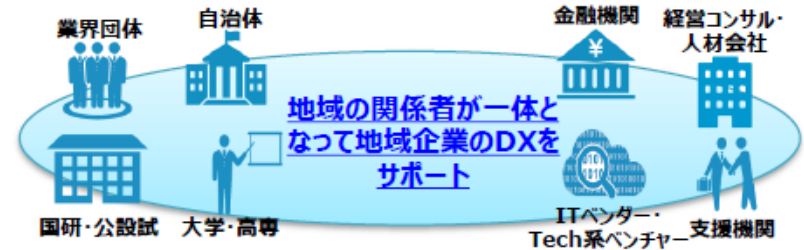
#### 条件（対象者、対象行為、補助率等）

(1)	国	補助 (10/10)	民間団体等	民間企業
(2)	国	(2) - 1 補助 (2/3, 1/2)		民間企業等
		(2) - 2 委託		
(3)	国		委託	民間企業等

### 事業イメージ

#### (1) 地域DX促進活動支援事業 【予算5.3億円】

- 地域企業の経営・デジタルに関する専門的知見・ノウハウを補完し、地域ぐるみで地域企業のDX実現を支援するため、産学官金の関係者が一体となった支援コミュニティが実施する各種活動（①地域企業の課題分析・戦略策定の伴走型支援、②地域企業とITベンダー等とのマッチング支援等）に要する費用を補助します。



#### (2) 地域デジタルイノベーション促進事業 【予算4.8億円】

1. 地域の特性や強みとデジタル技術をかけあわせ（X-Tech）、新たなビジネスモデルの構築に向けて地域企業等が行う実証事業（試作品製作、事業性評価等）に要する費用を補助します。
2. 新事業実証等のための環境整備として、経産省HP上の公設試保有機器等検索システムの更新、地域未来牽引企業の経営状況や工業用水道事業の最適化等に関する調査を実施します。

#### (3) 地域デジタル人材育成・確保推進事業 【予算5.8億円】

- 以下の取組により、地域の企業・産業のDXを加速させるために必要なデジタル人材を育成・確保します。
  - ① 基礎的なデジタルスキルを学べるオンライン教育ポータルサイトの運営
  - ② 企業データに基づく実践的な課題解決型学習プログラムの実施
  - ③ デジタル技術を活用した課題解決型現場研修プログラムの実施

# 地域デジタル人材育成・確保推進事業(全体)

- 地域の企業・産業のデジタル化・DXを推進させるためのデジタル人材は、都市部、IT企業に偏在しており、地域のユーザー企業においては人材確保が困難。
- 経済産業省では、このような状況下において、必要なデジタル人材を育成・確保するために「デジタル人材育成プラットフォーム」を構築し、3段階の育成プログラムによりデジタル人材を育成。

## デジタル人材育成プラットフォーム（運営：ボストン・コンサルティング・グループ（BCG））

【想定するプログラムの受講生】

社会人（企業内人材、行政職員、フリーランス等）や、学生（大学生、高専生、専門学校生等）から募集。

### マナビ DX Quest

#### 1層

デジタルスキルを学べるオンライン教育ポータルサイト「マナビDX」の提供



ポータルサイトに掲載されている学習コンテンツにより、基礎的なデジタルスキルを学習。

- デジタルの重要性やDXを推進するうえでの役割を知識として理解。

#### 2層

実企業データに基づく、実践的なケーススタディ教育プログラムの実施



受講生同士がお互いに学びあいながら、一人一人がそれぞれの体験として企業の課題解決方法を身に着ける

具体的な企業をテーマにしたプログラムを通じて、DX推進の一連のプロセスを一気通貫で学ぶ

- 企業の課題をデジタルにより解決するために必要なスキルの習得。

#### 3層

地域中小企業との協働による、課題解決型現場研修プログラムの実施



企業と受講生が協働し、実際に企業が抱える課題解決の取組に参画することで実践的なスキルを身につける（3層受講には、2層受講が必須）

全国各地の中小企業と受講生を派遣し、企業と受講生の協働による「課題解決型現場研修プログラム」を実施。

- 地域の企業・産業のDXを推進することのできる人材の輩出。

# オンライン教育ポータルサイト(1層/マナビDX)

- デジタル人材の育成を推進するため、デジタル知識・能力を身につけるための実践的な学びの場として、デジタル人材育成プラットフォームのポータルサイト「マナビDX（デラックス）」を開設。

「マナビDX（デラックス）」は、デジタルに関する知識・能力を身につけることができるポータルサイト。これまでデジタルスキルを学ぶ機会が無かった人にも、新たな学習を始めるきっかけを得ていただけるよう、誰でもデジタルスキルを学ぶことのできる学習コンテンツを紹介。

## 【活用例】

CASE  
01

まずはDXについて知りたい

- 手軽にDXについて知りたい
- これからDXの業務を始めたい

CASE  
02

DXについて理解を深めたい

- 世の中のデジタル技術を知りたい
- これから特定のテーマのデジタル関連業務を始めたい

CASE  
03

キャリアアップに役立つ  
スキルを身につけたい

- 理論と実践を一気に学びたい
- 転職/復職に有利なスキルを身につけたい
- 受講料の補助を受けたい

CASE  
04

企業の研修に活用したい

- これからデジタル人材育成に取り組みたい
- 企業研修で使える講座を探したい

## 【4つのテーマから学習コンテンツを検索】



**デジタル初心者。**  
基本から始めたい!

デジタル入門 / 基礎講座



**実践的なスキル**  
を身に付けたい!

デジタル実践講座



**補助を受けて**  
専門スキルを磨きたい!

受講料の支援のある講座



**自分にあった働き方**  
を手に入れたい!

特に女性におすすめ  
(多様な働き方に活かせる)



# ケーススタディ教育プログラム（2層/マナビ DX Quest）

- 9週間のPBL (Project-based Learning:プロジェクト型学習)を中心に据えたプログラム。
- 実際に手を動かし受講生同士学び合いながら、ケーススタディを解くことで、“DXを推進する際の一連のプロセスを経験し、進め方/ポイントを理解する”ことを目指す

具体的な企業をテーマにしたプログラムを通じて  
DX推進の一連のプロセスを一気通貫で学ぶ

受講生同士の「学び合い」の場を提供  
“講師無し”での学びを実現

教材の流れ STEP ①

## ビジネス課題

実企業の課題に対し、現場からの要望や業界特有のハードルを理解した上で、AI開発に向けた要件定義、AI導入を円滑にするためのプロジェクト設計を行う。

教材の流れ STEP ②

## デジタル課題

課題解決のための打ち手の一つとして、AIモデル構築・検証に取り組んでもらう。AI初学者に向けて、手順通りに進めることで一連のAI構築プロセスを体験可能な‘初学者ガイド’を準備。

教材の流れ STEP ③

## 最終プレゼン+DX変革推進課題

組織変革を進める際に考慮すべき観点について、受講生間のディスカッションを通じて理解を深める。

- ・会社としてのビジョン・戦略
- ・価値観・文化の醸成
- ・組織風土の変革
- ・必要人材・スキルセットの定義
- ・データ/システム/機能
- ・投資予算 etc.

課題理解 → 要件定義 → PoC設計

モデル構築 → 精度評価 → 実装・展開計画

Zoom等を使った交流の機会、SlackやWikiを使った情報交換の機会を提供



チームビルディング  
ワークショップ  
(開会時/修了式)



Weekly/Saturday Salon  
(任意参加)



Slackコミュニティの  
開設・運営



集合日程



相互評価の実施

# 課題解決型現場研修プログラム（3層/マナビ DX Quest）

- 現場で経営陣・担当者とDXを推進する実体験を通じて、PBLで学んだことを現場で推進する際の難しさやポイント等を理解する。机上では得られない学びが可能なプログラム。



開催期間	2022年12月～1月の2ヶ月
参加者	受講生: ケーススタディ教育プログラムに参加し、第1タームのPBLを修了した人 (チーム単位での参加が条件) 企業: DXの推進への "やる気"、事業への理解がある企業
実施内容	企業と連携し、企業のDX取組み状況に応じた2か月間のゴール設定、プロジェクト運営、成果報告を行う
学べること	実際の現場で経営陣・担当者とDXを推進する実体験を通じて、PBLで学んだDX推進・変革を現場で推進する際の難しさやポイントの理解等、机上では得られない学びが可能